

図書館だより

目次

春休みのおすすめ図書 ～各学科の教員から～	1～2
インフォメーション	2



春休みのおすすめ図書



各学科の教員から、春休みに読んでもらいたいおすすめの本を紹介していただきました。所属学科以外の教員からのご紹介も、普段手に取らない分野に興味を持つきっかけになるかもしれません。是非参考にしてください。

犀の角

大学院 心理学研究科・応用心理学部 臨床心理学科

馬場紀寿, 2018 『初期仏教 ブッタの思想をたどる (岩波新書)』 岩波書店

新しい世代の認知行動療法として近年注目されているマインドフルネスストレス低減法 MBSR やマインドフルネス認知療法 MBCT は、アメリカの Kabat-Zinn によって始められたものであるが、そこで用いられる呼吸法などの技法は仏教の瞑想やヨガを範としていることは有名である。臨床心理学を勉強する人達にとっても仏教の初歩的な知識を得ておくことは有益かもしれない。本書は気軽に読める新書サイズの本でありながら、古代インドの社会情勢やバラモン教、唯物論など他の思想との関連にふれつつ、どのようにして初期の仏教が成立したかを簡明に説明している。

さて仏教学といえば埃を被った訓詁注釈の学問のように誤解していたが(失礼)、2001年以降のアフガニスタンの戦乱に伴ってこれまで知られていなかった大量の仏教写本が欧米に流出したことにより、近年の仏教文献学には長足の進歩があったという。以前はブッタ本人の言葉と考えられていた韻文經典も実は後世の創作であるらしい。有名な「犀の角のように唯一人進め」(スッタニパータ)も、当時のインド苦行者文学でよく使われていた定型句なのだという。ショックを受けたのは私一人ではないだろう。

【田中 速 教授】

子どもの心を捉える

短期大学 幼児教育科

マーシャ・ブラウン絵; 瀬田貞二翻, 1965 『三びきのやぎのがらがらどん』 福音館書店

「だれだ、おれの はしを がたごとさせるのは。」子どもたちの大好きなフレーズです。すでに出版から53年。半世紀を過ぎても子どもの心を捉え続ける絵本『三びきのやぎのがらがらどん』(ノルウェーの昔話)は、学生の皆さんも記憶に残っている方がいるのではないのでしょうか。

30年ほど前、幼稚園の初任教諭の私は、34人の子どもがこの絵本の中に引き込まれていく感覚に驚きを感じました。そして、ちょうどその年に公開された映画「となりのトトロ」のエンディングにもさつきとメイとお母さんがこの絵本を読んで微笑んでいるシーンにこの絵本が登場していることに気が付いて、何か素敵なことを発見したような嬉しい気持ちになりました。そして「トトロってトトロのこと？」というさつきのセリフ。この絵本とトトロの関係を宮崎駿氏に聞きたいとずっと思っています。

その後、何十回も子どもとこの絵本を楽しむ中で感じたことがあります。子どもは、スリリングでリズムカルな場面、残酷でしたたかな場面、ファンタジックで幸せになれる場面が大好きであるということです。この絵本の魅力的な絵とリズムカルな翻訳、そして昔話の深層(人間本来が持っている魂にかかわる複雑な背景)が子ども達の心を捉え続けているのだと感じています。

時代の変化の中で変わりゆく子どもの生活ですが、この絵本がいつまでも、子どもの心を捉え、子どもの心に豊かに響き続けてほしいと願っています。

【大澤 洋美 教授】



館野哲編著, 2012 『韓国の暮らしと文化を知るための70章』 明石書店

グローバル化が進むにつれ、商品やサービス、情報、人々の国境を越えての往来も旺盛になってきています。このようなグローバル時代を背景に K-pop をはじめとする韓国のサブカルチャーが世界中に広まりつつあります。そして、その発信元である韓国を訪れる人々も増え続け、2017年には世界各国から1千3百万人を上回る人が訪問しました。韓国の文化に魅力を感じ、または韓国を知ろうと、世界中から多くの人々が訪れています。

この本は、韓国の持つ魅力について、日常の「暮らし」と「文化」の目線から描写しており、わかりやすく丁寧に解説しています。「エリア・スタディーズ」というシリーズ物として2012年に刊行されましたが、読み返すたびに、「なるほど」と言いたくなるほどの新鮮さを感じる一冊であります。全部で70のテーマで構成されており、入り口でもある「韓国を旅してまわる」パートでは、韓国の首都ソウルから、最大の島である済州島に至るまで、全国各地の歴史と文化が紹介されています。日常を描き出しながらも、歴史をありのまま紹介している点に「読む」楽しさを感じますが、例えば、現在の首都ソウルの名称は、当初「漢陽」でありましたが、そこから「漢城」、「開城」に変わり、今の「ソウル」に至るまでの話など、各地域の歴史や文化が執筆者たちの目線で書かれています。



次の「人・街・食」パートでは、例えば、日本でもよく知られている食べ物をはじめ、自然食や漢方に至る多様な食文化について紹介されており、また「言葉・メディア・大衆文化」パートでは K-pop をはじめ、映画やドラマ、雑誌、文学、演劇といった様々なジャンルについて説明されています。そのうえ、歴史や社会を理解するためのテーマも設けられていることから、すでに「韓国を知っている」人にも、さらに「韓国を知りたい」人にも、もしくは「韓国に興味がある」人にもお勧めできる一冊です。

執筆者は、大学教員から、記者、作家、翻訳家など様々な分野で活躍している、もしくは引退後においても韓国とのかかわりを持つ、50人を超える「韓国通」からなっており、様々な執筆者たちが伝える多様な韓国に触れ合うことができます。

【李 正勲 助教】

Information

開館スケジュール

* 変更される場合があります。HP や掲示板をご確認下さい。

9:00~20:00							9:00~14:00							9:00~17:00							休館																				
1 月														2 月														3 月													
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日														
	1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2	3					1	2	3														
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24														
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31														
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31																					

卒業予定者および大学院修了予定者の方へ

2019年3月に卒業・修了予定の方の最終返却日は以下のとおりとなります。返却忘れのないようにお気を付けください。

大学生・大学院生 2019年3月 4日(月)
短期大学生 2019年2月25日(月)

